

データで挑む！地域公共交通の未来戦略

データで「攻める」

公共交通のサバイバル術

地域公共交通計画策定の参考書

フランスの事例を手がかりに、データ分析を活用した地域公共交通の計画策定手法を解説。自治体や交通事業者の実務に役立つ一冊です。

第1章 サバイバルに欠かせない武器としてのデータ

- 第1節 型を学べば誰でもできる
- 第2節 まずは「必要」なデータ集めから
- 第3節 データは重ね合わせて可視化する
- 第4節 戦い方のシナリオは幾つも用意しシミュレーションで検証せよ
- 第5節 施策の効果を入念に評価せよ

第2章 データで攻める地方公共団体の都市交通の戦略

- 第1節 日本における地域公共交通計画と立地適正化計画の二面性をもつ「モビリティ計画」
- 第2節 交通のあるべき姿はまちづくりの戦略が決める
～フランスの交通・まちづくりの計画スキームに学ぶ～

第3章 データを武器に持つフランスの公共交通事業者の戦い方

- 第1節 日本の地方都市の参考になるナント・メトロポール
- 第2節 フランスの地方都市を運行する公共交通事業者「セミタン社」
- 第3節 バランスのとれた緊張感のあるフランスの自治体と公共交通事業者の関係
- 第4節 頭脳部隊を厚くし戦略を練る
- 第5節 誰でも簡単に分析できる環境整備
～フランス公共交通事業者のデータ分析ツール～
- 第6節 事業者だってここまでやる
～フランス公共交通事業者でのデータ収集と分析の「型」～
- 第7節 道路改良にまで踏み込む公共交通事業者のデータ分析
- 第8節 歩行者や自転車、障がい者や移動弱者のアクセシビリティへの対応
- 第9節 バスレーンの整備のバリエーション
～自転車の併用レーン、バス優先レーンなど～
- 第10節 デジタルで効率化された運行管理やシフト管理

第4章 サバイバルは人づくりから

- ～フランスや欧州の強固な人材育成プログラム～
- 第1節 一度は学んでみたいフランスの人材育成プログラム
～日本の中核都市程度の都市に人材を輩出するブルゴーニュ大学～
- 第2節 【対談】日本でのこれからの地域公共交通におけるデータ活用と人材育成
～輸入して改善ができるのが日本の強み～

著者：板垣 友圭梨、楠田 悦子、中村 文彦
発行：交通工学研究会 発売：丸善出版
令和8年3月発行 A5版 約200頁
本体価格 3,000円+税 会員価格 2,700円+税
ISBN978-4-911686-00-3

